



改さん、すさんな取り扱い わって戻ってきた のフロッピー

「特捜部の検事がフロッピーディスク（FD）を改ざんした、というニュースを聞いても、特に驚きませんでした。私の場合は検察庄に提出したFDやビデオテープを紛失されてしまい、5年以上たつた今も行方不明のまま。戻ってきたFDは別の事件のものでした」そう語るのは、東京都青梅市の鈴村健二さん（48）だ

上申書をつけて東京地検へ
王子支部に送付した。
ところが4カ月後、鈴村
さんは愕然とする。検察庁
から証拠が返送されてきた
のだが、FDの色が黒から
黄色に変わっていたのだ。
「すぐに中を確認してさら
に驚きました。娘の事故と
は全く関係のないスクータ
ーやヘルメットの写真が保
存されていたのです」

とは思えない誤字があり、さらに4行目に出でてくる文書も、日付からして本件とは無関係のもの。別の事件と間違えたようなのだ。

そして翌日、さらに許しがたい書面が鈴村さんのもとに届いた。業務上過失致死で送検されていた被疑者が不起訴処分になつたと伝える通知書だつたが、あろうことか“被疑者”の名前

現在、検察庁を相手に国家賠償訴訟の準備中だという静岡県藤枝市の阿部智恵さん(63)も、検察を相手に同様の訴訟を起こすことを考えている。

よぎはら・みか 1963年生まれ。交通事故、保険制度、死因究明問題などを取材。著書『巻子の言霊 愛と命を紡いだ、ある夫婦の物語』『死因究明 葬られた真実』『交通事故被害者は二度泣かされる』、『焼かれる前に語れ』(共著)、『自動車保険の落とし穴』など

察の証拠 色が変 証拠

交通事故でも 続出!

書で信号のことなど供述していなかつたことを認めたのです」（阿部さん）

だが、1カ月後、阿部さんのもとに「不服申立事件審査結果通知書」が届いたそこには「被害者阿部浩次氏が、交通規則を遵守して進行していたことは窺われ

広島地検でも、こんな不可解なことが起っていた。飲酒運転の車に衝突され死亡した亥下佳孝さん（当時19歳）の遺族が、加害者が軽い罰金刑だったことに納得できず、検察庁で調書類を贋写したところ、「酒酔い・酒気帯び鑑識記録書」に書かれた加害者の呼気アルコール濃度が、二重線を

書き換えられた アル「ール濃度

号の色を青から赤に変えて
まで不起訴にしたのです」
昨年末には、最高検が阿
部さんの自宅に訪れ、「国賠
で訴えるなら私を訴えてく
ださい」、そう言い残して帰
つていったという。

「阿部さんは語る。
『地検の副検事は『加害者は最初から赤だと言つていた』と嘘の説明をしました。さらに目撃証言も偽り、不起訴のまま時効を迎えてしまった。』と記されていたものの、結果的に再捜査は行われず、

ヤーナリスト 柳原二佳

検事が証拠のフロッピーを改ざんした事件を「やつぱり」という思いで見る人たちがいる。証拠のフロッピーを紛失されたり、証拠を改ざんされた疑惑があつたり、ずさんな事件処理をされたり……。検察官のひどい対応に苦しめられている交通事故の被害者たちは数多い。

被害者たちは数多い。

一を改ざんした事件を
で見る人たちがいる。
されたり、証拠を改ざ
、ずさんな事件処理を
ひどい対応に苦しめら

日に鈴村さんから郵送して
いただいたフロッピーディ
スクを返送いたします」と
あるが、鈴村さんがFDを
郵送したのは6月だ。3行
目には〈ありがとうございます〉
ました」と、およそ公文書

「やヘルメットの写真が保存されていましたのです」
このとき同封されていた書面（10月31日付・写真左上）もひどいものだった。

上申書をつけて東京地検へ
王子支部に送付した。
ところが4カ月後、鈴村
さんは愕然とする。検察庁
から証拠が返送されてきた
のだが、FDの色が黒から
黄色に変わっていたのだ。
「すぐに中を確認してさら
に驚きました。娘の事故と
は全く関係のないスクータ

文書は出されなかつた。自分が証拠として出したFDとビデオテープについては「わからない」の一点張りで、今も返却されていない。

事故を調べた警察は、交差点で信号待ちをしていたドライバーの目撃証言を基に、「息子さん側の信号はたしかに青でした。事故の原因は加害者にある」旨を阿部さんに告げたという。

**目撃証言もある
青信号が赤に!?**

よぎはら・みか 1963年生まれ。交通事故、保険制度、死因究明問題などを取材。著書『巻子の言霊 愛と命を紡いだ、ある夫婦の物語』『死因究明 葬られた真実』『交通事故被害者は二度泣かされる』、『焼かれる前に語れ』(共著)、『自動車保険の落とし穴』など

33 2010.11.5

2010.11.5

2010.11.5

32